

# モーターヘッド

MOTORHEAD

San-ei shobo  
1050 JPY

SPRING 2015

15

↑ *plus*  
特別付録ステッカー  
「モーターヘッド」

特集：神話の本性。

**SUPERCLASSIC**

**Front Row**

P1, エロティカ。

**BMW maniacs**

MH的ペーエムペー。

**Custom Trends**

明日の風向き。

and so on...



目  
案  
料

## エレガント・レーシング。



装着されるHF-LC5は、フロント9.5J、リヤ11.5J、タイヤサイズはそれぞれ265/30、315/25の22インチとなる。SUV級の22インチであってもコンチGTならなんなく飲み込む。

しあわせ  
応援  
王屋  
質店  
中洲1  
☎281-38

研究が進められた造形は、ずばり世のスーパースポーツ勢を狙ったもの。まるでリムに突き刺さるように枝分かれする5本のスポークと無骨なピアスポルトがレーシング風情を感じさせる。切れ味鋭い戦闘機に似合うと言える、誰もがコクリと頷く。ところがこれが、戦闘的というよりもエレガントな雰囲気をも先にも伝えてくる真っ白なコンチGTにもすんなりと溶け込んでしまう。ディスクを黒色のブラッシュド・アナダイズドとして、リムは取ってポリッシュリムとしたコーディネートが抜

**ま** つさらなコンチGTの、それも12気筒モデルというだけで存在感抜群なのに、そこに手を加えようと言っただけから生半可なモノじゃ役不足だ。そこで肝心かなめの足もとに抜擢されたのは、日本の鍛造技術の賜物ハイパーフォージドの新作HF-LC5である。

もちろん、エレガントといってもコンチGTである。搭載されるW型12気筒ツインタートボが雄叫びをあげれば、並のスーパーカーなど悲鳴をあげて逃げていくに違いない。普段は紳士然として能ある鷹が爪を隠すからこそ、ホイールくらいは思いっきりその強さをアピールさせたい。と、思うのなら今回のコーディネートは抜群だ。夜のコインパーキングに静かに佇んでも、どこことなく戦闘的な雰囲気が宿るのが分かる。無風な駐車場の緑石にさえ注意すれば、もう無敵の存在である。 〽

群だ。リムの輝きはきらびやかな純正モデル類と調和し、また硬派な黒色ディスクは、純正オプションたるカーボンエアロパーツと溶け込む。サイズは前後とも22インチで、エアサスモジュールを駆使して車高を50mm近く下げたことで、絶妙なクリアランスを実現させた。

Text : 中三川大地 Daichi Nakamigawa  
Photo : 河野マルオ Maruo Kouno



# HYPER FORGED BENTLEY

HIGH PERFORMANCE

03

HF-LC5  
Size : 7.5Jx19 ~ 14.0Jx22  
Price : ¥132,000 ~ ¥319,000



**福** 岡エリアのメルセデス事情を一手に引き受ける一大カスタマイズ策源地、ECスベックが興味深い。ご登場願うは、フルカスタムされたデジーノ仕様のG63AMG。プラチナブラックという独特の煌めきを放つ肢体に見合うプログラムを、と依頼されて導き出された解答は、マンソリーとブラバスという二大巨頭を核に据



えたカーボンチューンド。

高級銘柄のエアロで表情を整えつつ、老舗の看板で足元と機能性を磨く。が、なにも単純にブランドネームを借りたわけではなく、例えばクロームモールをカーボン化したり、モノブロックRにマットブラックパウダーコートをかけたうえで天面切削およびポリッシュ化したり、名門ならではの冴えた手腕が光るのだ。

内装に目を向ければ、特注カーボン巻きのステアリングやドイツ本国から直輸入されたAMGカーボンエクストラパッケージ用のインテリアパーツも。この豪華な“ブラック・オン・ブラック”仕立てには、博多っ子らしい気骨を感じさせる。実際、同店ではこの装いを好む黒いG乗りが増殖し、Gにおける一大潮流となり得る可能性も。G乗りの、G乗りによる、G乗りのための、新セオリーが福岡の地で生まれた。Jr

ただいま、福岡方面制圧中♪



## EC SPEC X G CLASS

Text : 堀口 訓 Satoshi Horiguchi  
Photo : 石井健之 Takeshi Ishii

カーボンパーツを随所に奢る

### ブラバスブランドの威圧感



ホイールとマフラーはブラバスメイドのモノブロックR(22×10J)とコンプリートカー用の専用エキゾースト。カラーが全面的に変更されたディスクは独特の表情を浮かべる。



マンソリーのカーボンエアロに呼応する、純正クロームモールのカーボン巻き。ハンドルやコンソール周囲も外装に合わせてカーボン化。この整合性ある装いが大人気。